



AC入試・特別入試

GUIDE BOOK 2018

AC入試

p.01

国際科学オリンピック
特別入試

p.04

国際バカロレア
特別入試

p.07



筑波大学
University of Tsukuba

AC入試

- ✓ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ✓ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ✓ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。



◎アドミッション・ポリシー

志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

◎自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。

- 調査書
- 志願理由書: 志願の理由を800字以内で所定の様式に記述してください。
- 自己推薦書: あなたがこれまで主体的に、そして継続的に取り組んできた活動や研究の内容をもとに、自分の「問題発見・解決能力」を提示してください。また、大学でどのように学びたいのかを具体的に記述してください。分量・様式は自由です。
- 自己推薦書の根拠となる資料: これまでの活動や研究の過程で生まれたレポートや作品、制作物、賞状や証明書、活動の過程を記録したノートなどのコピーや写真を、自己推薦書本文の内容を補完する資料として添付することができます。

第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロシア・ドイツ近代史研究 ■ 新アッシリア研究－国家組織と領土拡大の要因 ■ オノマトペ研究－長音符と母音の音象徴機能 ■ 独我論のその先へ
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化論的観点から見たサプライチェーン問題 ■ 富士山信仰の歴史と現在における観光のあり方 ■ 演劇論と実存主義 ■ 古代～近代にみるアルビニズムへの認識
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本文化の可能性－祭りと山車屋台から学ぶ「粋」 ■ 日本語表現の探求－「私の主食は日本語である」 ■ 普通体を教える新しい日本語教師を目指して ■ 異文化交流は受信と発信から－フィンランド留学から
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ ウサギゴケの捕虫囊に関する研究 ■ 硝化菌と根粒菌・菌根菌の組み合わせが成長に与える影響 ■ ハタゴイソギンチャク刺胞射出の秘密 ■ エチレンはどのようにカイワレダイコンの子葉をカルスさせるのか？
	生物資源学類	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新潟県に侵入した謎のヌマエビの分布と起源 ■ ヨモギタマバエの虫えいの多型現象 ■ カスミサンショウウオの保全 ■ ピロールの電解重合


実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
生命環境学群	地球学類	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化に強い好奇心を持ち、自ら設定したテーマに対して、創造的かつ問題解決志向で取り組む能力を持ち、それを表現する能力のある人材を選抜します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ ザクロ石の出現温度 ■ 地理学への多角的アプローチフィールドワークの重要性 ■ 気象モデルのシミュレーション ■ 水質汚染による環境破壊の課題と展望
理工学群	数学類	数学に対する強い好奇心を持続的に有していることを重視するとともに、独自に課題を設定し解決する能力および基礎学力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 整数論入門教科書の作成 ■ 整数環のidealにおける剰余環を用いたオイラーの定理の精緻化 ■ ガウス整数上における二平方和の定理 ■ 非整数階微積分について
	物理学類	自然科学に対する持続的な強い関心、独自に問題を発見し解決する高い能力、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ β線の速さの測定 ■ 炎の電気伝導性 ■ レーザー発振器の制作 ■ 彗星、超新星の観測
	化学類	化学及び関連事項に対する強い関心を持ち、独自に問題を発見し、明確な目標のもとに主体的に学習し、問題解決する高い能力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 化学発光の制御に関する研究 ■ 腐敗・発酵を利用した発電の研究 ■ シキミ酸全合成ルートの確立 ■ BZ反応の停止に関する研究
	工学システム学類	本人からアピールされた、今までの経験、ものに継続的に取り組む態度、数学・物理の基礎学力とその運用力、論理的な文章を作成する能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、並びに、興味の深さと広さ、積極性、行動力、表現力を評価します。	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボット作りを通して学んだこと ■ 新型色素増感太陽電池の開発 ■ 噴流工学の宇宙への応用 ■ 天然染料を用いたアルマイトの着色
	社会工学類	数学と外国語の基礎学力を有し、社会システムについての問題を発見・解決するまでの一連の活動を意欲的かつ主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際的アスリート流都市計画 ■ 茨城の観光についての分析と考察 —観光甲子園における提案の実現に向けて— ■ 地方都市におけるまちづくりに関する地理学的研究 ■ 津波被害と減災に関する多角的調査研究
情報学群	情報科学類	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ SuperCon、情報オリンピック、パソコン甲子園での取り組み ■ Twitter エゴサーチソフトの開発 ■ 画像と表計算を用いた運動解析ツールの開発 ■ 自由記述式アンケート集計プログラム作成
	情報メディア創成学類	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル遠隔操作アプリ、選挙投票行動支援アプリ等の開発 ■ 県内高校文化祭情報サイトの立ち上げとその改善 ■ Rubyを用いたインタラクティブコンテンツの制作 ■ ARを用いたデバイスレス操作の研究
	知識情報・図書館学類	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的弱者に対する図書館サービスのあり方 ■ 図書館におけるレコメンデーション機能の検討 ■ 国際電子図書館の構想とその可能性 ■ テレビとインターネットの相互関係と知的財産権の考察
体育専門学群		<p>A（問題解決型）：ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。</p> <p>B（競技力型）：拔群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 100m走のストライド、回転数の変化から見るタイム向上の要因 ■ ハンマー投げのトレーニングと技術について ■ やり投げの記録向上のための「体力」「技術」「試合展開」における課題の克服 ■ ラグビーにおけるアタック構造 ■ 怪我の予防と競技力向上に向けた取り組み ■ スクラムハーフとしてのレベルアップのための取り組み
芸術専門学群		問題発見・解決能力、行動力などの一般的能力に加え、芸術の専門領域に関する意欲、資質を評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 龍門四品の考察 ■ デザイン的書道を用いたクライアントによるコンセプトの表現 ■ 日常の高校生活における感情を描く手段としてのスーパーリアリズム ■ 現存する「継色紙」の完全復活を目指す

自分の夢をすべて実現させてくれたAC入試



千葉大学アカデミック・リンク・センター 特任助教
小野永貴さん

- 筑波大学 図書館情報専門学群（現：情報学群 知識情報・図書館学類）卒業
- 筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻（博士前期課程）修了
- 東京学芸大学附属高等学校出身

 書館情報学の研究と教育に携わっていますが、振り返ってみれば、AC入試がすべての出発点でした。そこを起点として、中学時代から継続して行ってきた活動と大学での勉強がつながり、さらに現在の職業にもつながっているからです。

小学生の頃からワープロに親しみ、中学になってパソコンを使うようになると、パソコンを活用した情報発信に興味を持つようになりました。鉄道研究部を立ち上げて情報誌を発行したり、探求学習で自動作曲プログラムを開発したりしたほか、情報委員会を立ち上げて校内のコンピュータ環境の改善を促す活動も行いました。高校でもこうした活動は続き、英単語学習システムや特別教室の予約システムなどのプログラム開発をはじめ、文化祭の演劇発表会では、「メディア担当」として演目や脚本の決定、スタッフの進捗管理などの機能を備えた情報システムを作って運用し、演劇制作が円滑に進むようにしたり、広報宣伝用のウェブサイトを全校で最初に立ち上げて集客に貢献したりしました。

大きな受賞歴などはありませんが、学校生活で感じた問題を継続的に解決してきた活動が、AC入試で求められる問題解決能力として評価されたのだと思います。

入学後は、AC入試の普及活動や近未来の図書館を創造する実践研究に励む一方で、学園祭実行委員会の情報システム局に所属し、学園祭の生中継映像の画面にコメントを流せる機能を日本で最初に実現させました。また、友人たちと新しい図書館システムを作るプロジェクトを立ち上げ、経済産業省の未踏ソフトウェア創造事業未踏ユース部門で準スーパークリエイターの認定も受けました。

現在は、大学教員として図書館や学習環境の新しい姿を追究しながら、小さい頃から目指していた高校の情報科教師も兼任しており、自分の夢をすべて実現できています。その原点が、日常のプロセスの中で問題解決の努力をしている人を評価するAC入試だったのです。

近未来図書館のシンボルとして着ぐるみ化を実現させた筑波大学附属図書館キャラクター「がまじゃんぱー」と共にウェディングフォト。



特定の分野で実力があり、目標が明確な人に勧めたい

16 歳のときに初めて漫画を描き、月刊の漫画雑誌に応募したところ、誌上最年少での準入選となりました。編集部の方々からは「期待の新人」と言われ、1年に1作という遅めのペースながらも、漫画家と高校生を両立しながら3年間を過ごしました。しかしまだ卒業と同時に漫画家として独り立ちする自信がなく、大学進学を考えるようになりました。ただ、漫画を描くことにほとんどの力と時間を費やしてきたため、受験をするならそれを活かすしかないと思っていました。

そんなとき、担任の先生からAC入試の存在を知らされました。AC入試は評定平均値に関係なく出願できますし、漫画を描くことを通して身につけた課題発見・解決能力を学力として評価してもらえます。まさに自分のためにある入試だったのです。これは後で知ったことですが、今後の活躍への期待値の大きいことが合格につながったそうです。実際入学後は、英語をはじめとする一般教科の授業についていくのは本当に大変でした。しかし、せっかく大学で学べるチャンス进行いただいたのだからと、必死についていきました。

入学後1年間は、自分の専攻に関係なく様々な芸術分野の制作を行います。パソコンでのデザインをはじめ、漫画表現における基礎的な技術を習得できたことは大きな収穫でした。また、他学群の授業も履修できたことも自分の世界観を広げるのに役立ちました。とくに哲学とジャーナリズムの授業がとても興味深く、作品づくりのヒントにもなりました。AC入試が開いてくれた筑波大学での生活は、交友関係の広がりも含めて、様々な出会いに満ちたものでした。

漫画制作はスランプの時期もありますが、今は、新たに連載漫画にもチャレンジしたい。厳しい道であることはわかっていますが、将来は、人々の記憶に残るような漫画作家になりたいと思っています。

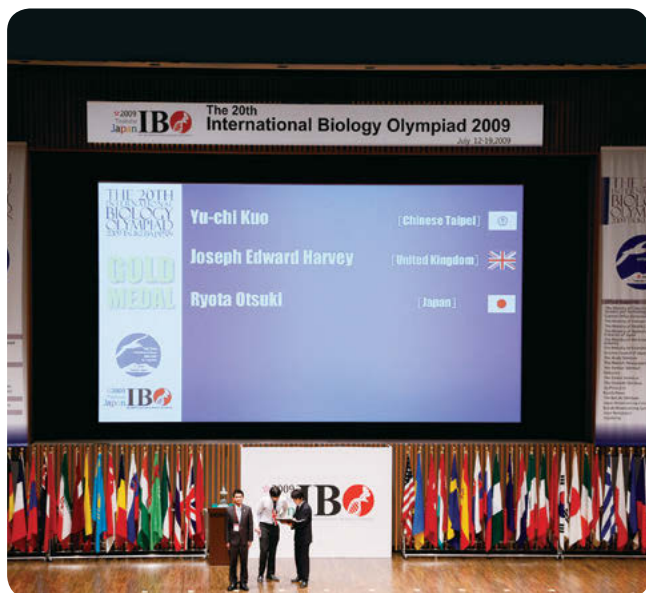
自画像。イラストレーターとしても活躍中。
<https://twitter.com/nanora02>



漫画家・イラストレーター
西尾ナノラさん

- 筑波大学 芸術専門学群 構成専攻 ビジュアルデザイン領域 4年
- 滋賀県光泉高等学校出身

国際科学オリンピック 特別入試



世界の科学技術を リードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

◎アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

国際科学オリンピック特別入試の概要

募集学類

- 生物学類 ●地球学類 ●数学類 ●物理学類 ●化学類
- 情報科学類 ●情報メディア創成学類

対象となるオリンピック

- 数学 ●化学 ●生物 ●物理 ●情報 ●地学 ●地理 ●その他*
- *情報科学類、情報メディア創成学類には、IPA「末路IT人材発掘・育成事業」採択者も応募できます。

選抜方法

エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。
ただし、生物学類のみ書類審査による第1次選考を行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

【過去の実績】

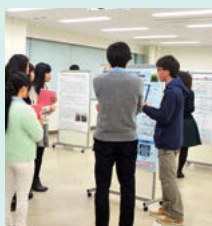
	受験者数	合格者数
2017年	14人	7人
2016年	15人	7人
2015年	9人	4人
2014年	10人	5人
2013年	16人	7人
2012年	10人	7人
2011年	13人	9人
2010年	8人	6人
2009年	11人	6人

TOPICS

先導的研究者体験プログラム[ARE]

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります！

先導的研究者体験プログラム[ARE]は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採用されれば、研究費と研究場所が提供されます。スーパーサイエンスハイスクール（SSH）での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。



AREの研究発表会の様子

【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2016年度	41件	41件(43人)
2015年度	45件	45件(50人)
2014年度	48件	45件(48人)
2013年度	31件	30件(32人)
2012年度	42件	39件(44人)

詳しくはWebをご覧ください。
<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS>

AC入試Q&A

Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<http://ac.tsukuba.ac.jp/examination/report>

Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とははっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか

A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか

A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。

合格者には、結果的に成績がよい人が多くはなっていますが、出願要件ではありません。

Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、センター試験や個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試とは併願できません。

国際科学オリンピック特別入試Q&A

Q. 出願できるのはどのような人ですか

A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

Q. 選考で重視されるのはどんなことですか

A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入試センター試験は課しません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。AC入試や国際バカロレア特別入試とは併願できません。

国際バカロレア特別入試Q&A

Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか

A. スコアだけで合否を判定しません。EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

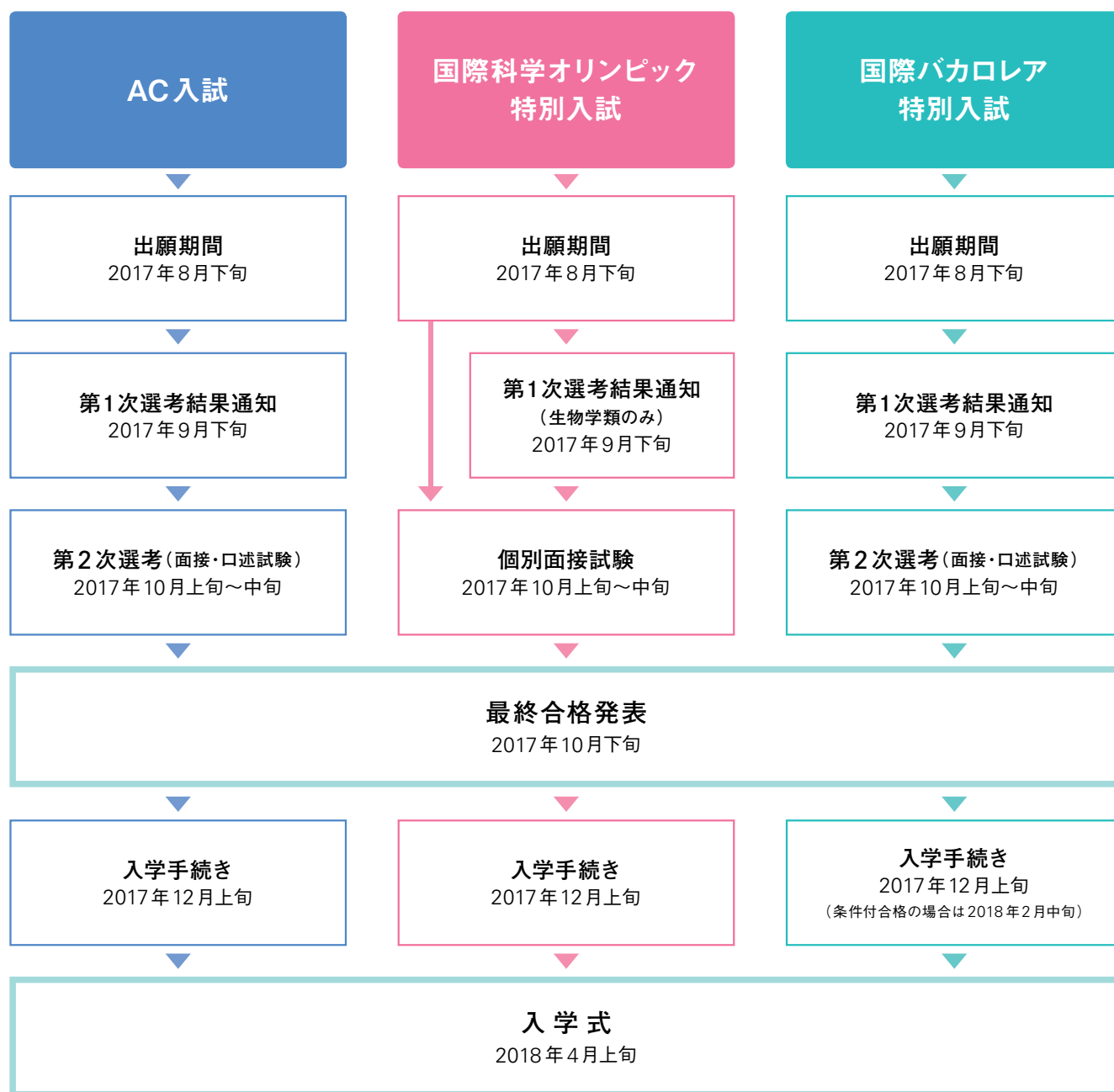
Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか

A. 英語を履修していれば必要ありません。履修していない場合の扱いは教育組織ごとに違いますが、募集要項でよく確認してください。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願することはできますか

A. 推薦入試や一般入試（前期・後期日程）と併願できます。AC入試や国際科学オリンピック特別入試とは併願できません。

入学への歩み



学生募集要項の入手方法

- AC入試、国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試の学生募集要項(願書)は、本学のホームページからダウンロードしてください。
http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/list_guidebooks.html
 (HOME ▶ 本学で学びたい方へ ▶ 入学案内・募集要項の一覧)
- その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。
<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/requests.html>
 (HOME ▶ 本学で学びたい方へ ▶ 募集要項(願書)等の請求方法)

TOPICS

① 体育専門学群AC入試の競技力型も注目!

拔群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。

② 社会工学類は、平成31年度よりAC入試を実施しません。

ガイダンス・進学相談、過去の「AC入試・特別入試ガイドブック」についてはこちらで ▶ <http://ac.tsukuba.ac.jp>

国際バカロレア 特別入試

探求心、信念をもって物事に挑戦する 若者の育成をめざして

筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための新たな入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。



国際バカロレア
「10の学習者像」

アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。



国際バカロレア特別入試の概要

この入試の特徴

この入試は、IBスコアだけでなく、IBのプログラムで学んだ内容にも重きを置いて、出願する教育組織への適合性をじっくり評価しようとする点に特徴があります。

出願時の提出書類にEE（課題論文）の写しと日本語要約、TOK（知識の理論）及びCAS（創造性・活動・奉仕）の成果・概要レポートを含め、そこから志願する教育組織への適合性を読み取ります（EEのテーマが、志望する分野とは無関係に、日本語で執筆することが許されている領域から選ばれていると、適合性の判断が困難になります）。

また、体育、芸術の分野では、それぞれ上記の書類に加えて、「運動特技に関する調査書」、芸術に関する作品などをまとめた資料も併せて提出します。

IBスコアも重要ですが、各学類・専門学群で学ぶために必要な適応性や、スコアでは表しきれないディプロマプログラムで養われた能力、及びこれらと各学類・専門学群での学習領域・研究分野との関連性も大切なポイントになります。

募集学群・学類

すべての学群・学類
（各募集組織のアドミッションポリシーについては募集要項で確認してください。）

出願資格

次の①～③の条件をすべて満たすものとします。

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を授与された者もしくは2018年3月31日までに授与される見込みの者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの。

国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、2018年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できなかった場合は、合格取消となります。また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者は、IB最終試験の得点によって最終的な可否を判断します。

- ② 日本語を母語とする者又は日本語を履修している者。
（日本語の履修要件については募集要項で確認してください。）

- ③ 国際バカロレア資格の取得において、本学の指定する科目を履修している者。
（具体的な科目については、募集要項で確認してください。）

選考方法

■ 第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

IBの学習成果について、IBスコアのほか、EE、TOK及びCASの内容から、志願する学群・学類で学ぶために必要な適応性（知識・技能、思考力、表現力、当該領域・分野への関心、目的意識をもって学ぶ意欲等）等を評価します。

■ 第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に30分程度行います。志願する学群・学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。

【過去の実績】

	受験者数※1	合格者数※2
2017年	24人	4人
2016年	13人	5人
2015年	9人	2人

※1 国内高校出身の受験者

● 2017年／8人 ● 2016年／2人 ● 2015年／4人

※2 合格者の出願先

● 2017年／比較文化学類、心理学類、医学類、芸術専門学群
● 2016年／国際総合学類、物理学類、医学類、医療科学類、芸術専門学群
● 2015年／比較文化学類、医学類

受験生のための筑波大学説明会

カリキュラム説明や模擬授業、施設見学なども行います。この機会にぜひ、筑波大学を体験してください。申し込み方法など詳細はホームページで6月上旬頃にお知らせします。

<http://www.tsukuba.ac.jp>

アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392
<http://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学
ホームページへ

筑波大学

で

検索